

さとうきび増産に向けた取組目標及び取組計画

平成 27 年 12 月 28 日策定

宮古島・伊良部島

策定主体：宮古島・伊良部島さとうきび増産プロジェクト会議

さとうきび生産における基本的考え

【前計画（平成 18 年～平成 27 年）の達成状況の検証・評価】

(1) 数値目標の達成状況の検証

【宮古島】

	収穫面積 (ha)				単収 (t / 10a)				生産量 (t)			
	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計
平成 16 年産(策定時)	2,704	326	103	3,133	5.9	3.3	3.8	5.5	158,463	10,670	3,912	173,045
平成 22 年産 (目標)	2,493	193	556	3,242	7.3	4.8	5.6	6.9	182,898	9,264	31,288	223,450
(実績)	2,483	322	271	3,076	8.5	5.5	6.3	8.0	212,275	17,679	17,035	246,988
(達成度 (%))	(99.6)	(166.7)	(48.8)	(94.9)	(117.1)	(114.5)	(112.2)	(116.4)	(116.1)	(190.8)	(54.4)	(110.5)
平成 27 年産 (目標)	2,222	193	1,225	3,640	7.9	4.9	5.6	7.0	175,643	9,457	68,975	254,075
平成 26 年産 (実績)	1,799	285	1,564	3,647	7.7	5.5	5.5	6.6	138,489	15,569	85,426	239,484
(達成度 (%))	(80.9)	(147.7)	(127.6)	(100.2)	(97.5)	(111.4)	(97.6)	(93.8)	(78.8)	(164.6)	(123.9)	(94.3)

【伊良部島】

	収穫面積 (ha)				単収 (t / 10a)				生産量 (t)			
	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計
平成 16 年産(策定時)	790	10	5	805	4.0	1.3	1.2	3.9	31,469	127	61	31,657
平成 22 年産 (目標)	712	10	157	879	7.3	5.3	5.3	6.9	51,969	528	8,324	60,821
(実績)	735	25	17	777	7.0	4.4	4.5	6.9	51,443	1,106	769	53,318
(達成度 (%))	(103.2)	(250.0)	(10.8)	(88.4)	(95.9)	(83.4)	(85.4)	(99.4)	(99.0)	(209.4)	(9.2)	(87.7)
平成 27 年産 (目標)	624	10	347	981	7.8	5.6	5.4	6.9	48,688	564	18,740	67,992
平成 26 年産 (実績)	701	35	127	863	7.7	4.8	5.0	7.2	53,734	1,666	6,384	61,784
(達成度 (%))	(112.3)	(350.0)	(36.6)	(88.0)	(98.3)	(85.0)	(93.1)	(103.8)	(110.4)	(295.4)	(34.1)	(90.9)

【宮古島】

区分	認定農業者	特定農業団体	受託組織	大規模生産農家
平成 17 年度 (策定時)	64	—	1	12
平成 22 年度 (目標)	111	—	5	21
(実績)	155	—	—	26
(達成度 (%))	(139.6)	—	—	(123.8)
平成 27 年度 (目標)	123	—	20	21
平成 26 年度 (実績)	20	—	8	39
(達成度 (%))	(16.3)	—	(40.0)	(185.7)

【伊良部島】

区分	認定農業者	特定農業団体	受託組織	大規模生産農家
平成 17 年度 (策定時)	5	—	1	1
平成 22 年度 (目標)	19	—	1	1
(実績)	155	—	—	1
(達成度 (%))	(815.8)	—	—	(100.0)
平成 27 年度 (目標)	19	—	1	1
平成 26 年度 (実績)	20	—	1	4
(達成度 (%))	(105.3)	—	(100.0)	(400.0)

(2) 評価

① 前計画で挙げた課題

(宮古島地区)

- ・農地集積が進まず、法人においては受託作業中心の経営、農業共済の農家加入率が低い。
- ・かんがい施設未整備地区での干ばつ被害、潮害被害が大きい。防風林の整備が不十分。
- ・株出不萌芽による夏植へ偏った体系で土地生産性が低い、土壌害虫の発生被害が多い。

(伊良部島地区)

- ・ほ場整備率が低く、基盤整備の推進及び農業用施設の計画的整備が必要。
- ・水利条件に恵まれないことや保水力が乏しいため干ばつ被害を受けやすく、土地生産性が低い。
- ・株出不萌芽の要因となっている土壌害虫が多い。
- ・他品目への移行農家の増加により、さとうきび栽培面積が減少している。

② 課題に対する取組内容

(宮古島地区)

- ・単収向上に向け、水源確保及び農地防風林等の生産基盤の整備を図る。
- ・台風、干ばつ等に強い品種の導入、春植・株出体系の推進による生産拡大。
- ・土壌害虫防除対策の実施、株出面積の拡大、収穫後の株出管理機を組み合わせた早期株出管理作業体系の確立による生産振興。
- ・プラソイラ等による深耕の推進、緑肥及び堆肥を活用した土づくりの推進による反収向上。

(伊良部島地区)

- ・水資源の確保及び農地防風林等生産基盤の整備。
- ・台風、干ばつ等の抵抗性のある品種の導入による品種構成の適正化。
- ・認定農業者や生産法人の育成、受託組織による機械化一貫作業体系の確立。
- ・土壌害虫対策の推進、株出面積の拡大による生産量の拡大。

③ 解決した課題

- ・ペイト剤の普及により、株出面積が増加した。
- ・生産法人の増加や、ハーベスタの事業導入により、機械収穫面積が増加した。

④ 依然として残っている課題

(宮古島地区)

- ・基盤整備未整備地区での干ばつ対策、防風林整備が不十分な地域での品質低下。
- ・土壌病虫害被害の軽減。
- ・小規模農家の共済加入の促進。

(伊良部島地区)

- ・機械化一貫作業体系の推進。
- ・基盤整備の促進。
- ・地域にあった品種の選抜、奨励品種の普及。
- ・病虫害防除の徹底、不萌芽対策、土壌改良。

⑤ 新たに生じた課題

- ・収穫作業の機械化は推進したが、株出管理作業の機械化・受託組織の育成が追いついていない。

【新たな目標】

(1) 生産目標

【宮古島】

	収穫面積 (ha)				単収 (t / 10a)				生産量 (t)			
	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計
平成 26 年産 (現状)	1,799	285	1,564	3,647	7.7	5.5	5.5	6.6	138,489	15,569	85,426	239,484
平成 28 年産 (目標)	1,927	390	1,481	3,798	7.7	5.6	5.9	6.8	148,960	21,934	87,005	257,899
平成 29 年産 (目標)	1,840	289	1,878	4,007	7.8	5.6	5.6	6.6	143,520	16,184	105,168	264,872
平成 30 年産 (目標)	1,879	290	1,878	4,047	7.8	5.7	5.7	6.7	146,562	16,530	107,046	270,138
平成 31 年産 (目標)	1,913	291	2,030	4,234	7.8	5.8	5.8	6.7	149,214	16,878	117,740	283,832
平成 32 年産 (目標)	1,947	292	2,030	4,269	7.9	5.9	5.9	6.8	153,813	17,228	119,770	290,811
平成 37 年産 (目標)	1,960	293	2,180	4,433	7.9	5.9	5.9	6.8	154,840	17,250	128,510	300,600

【伊良部島】

	収穫面積 (ha)				単収 (t / 10a)				生産量 (t)			
	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計
平成 26 年産 (現状)	701	35	127	863	7.7	4.8	5.0	7.2	53,734	1,666	6,384	61,784
平成 28 年産 (目標)	702	30	197	929	6.8	4.2	4.7	6.3	47,631	1,268	9,253	58,152
平成 29 年産 (目標)	690	40	135	865	7.7	5.1	5.1	7.2	53,130	2,040	6,885	62,055
平成 30 年産 (目標)	680	50	140	870	7.7	5.1	5.2	7.1	52,360	2,550	7,280	62,190
平成 31 年産 (目標)	670	60	145	875	7.7	5.4	5.3	7.1	51,590	3,210	7,685	62,485
平成 32 年産 (目標)	680	70	150	900	7.7	5.2	5.3	7.1	52,360	3,640	7,950	63,950
平成 37 年産 (目標)	650	100	200	950	7.7	5.5	5.5	7.0	50,000	5,500	11,000	66,500

(2) 担い手育成目標

【宮古島】

区分	認定農業者	特定農業団体	受託組織	大規模生産農家
平成 27 年度 (現状)	73		53	70
平成 32 年度 (目標)	113		103	101
平成 37 年度 (目標)	163		153	151

【伊良部島】

区分	認定農業者	特定農業団体	受託組織	大規模生産農家
平成 27 年度 (現状)	23		1	1
平成 32 年度 (目標)	36		3	3
平成 37 年度 (目標)	51		10	10

(3) 目標達成に向けた取組方向

- ・単収向上に向けて、溜め池等による水源確保及び農地防風林等の生産基盤の整備を図るとともに、台風、干ばつ等に強い品種の導入を図る。
- ・潮害を受けやすい島内（海岸一帯）においては、夏植中心の栽培体系を推進すると同時に、春植・株出の単収向上を図り生産拡大に努める。
- ・土壌害虫防除対策を推進し、株出面積の推進と、収穫後の株出管理機を組み合わせた早期株出管理体系の確立等も積極的に進め生産振興を図る。
- ・機械収穫による土壌踏圧等のため土壌が悪化していることから、プラソイラ等による深耕を推進する。
- ・緑肥及び堆肥を活用し、土づくりを強力に推進しさとうきびの単収向上に努める。
- ・認定農業者や生産法人の育成、受委託組織による機械化一貫作業体系の確立を図る。
- ・土壌害虫防除対策を推進し株出面積の拡大に努め生産量を拡大する。

1. 目標達成に向けた取組計画

(1) 経営基盤の強化

項目	現状及び課題	目標及び計画	備考																																																																																																
<p>農地の利用集積、効率的なさとうきび経営の育成と労働力の確保</p>	<p><b>【前計画策定時の課題及びそれに対する取組結果】</b>                      (宮古島地区)                      ・株出管理作業が他作業と競合するなど機械化体系が確立しておらず、作業受託組織の整備が必要である。                      ・兼業化率も高く、高齢化も進んでおり機械化の推進を図る必要がある。                      (伊良部島地区)                      ・農業経営の基盤がさとうきびであり、耕作面積のほとんどがさとうきび栽培となっている。今後、担い手の育成が必要である。</p> <p><b>【現状】</b>                      &lt;担い手育成の状況 (H26 年度) &gt;</p> <table border="1" data-bbox="483 821 1066 959"> <thead> <tr> <th></th> <th>宮古島</th> <th>伊良部島</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定農業者</td> <td>73</td> <td>23</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>生産法人数</td> <td>51</td> <td>1</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>受託組織</td> <td>53</td> <td>1</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;10a 当たりの労働時間の現状 (H27 年度) &gt;</p> <table border="1" data-bbox="483 1034 745 1171"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏植</td> <td>143.2 時間</td> </tr> <tr> <td>春植</td> <td>111.8 時間</td> </tr> <tr> <td>株出</td> <td>84.5 時間</td> </tr> </tbody> </table>		宮古島	伊良部島	計	認定農業者	73	23	96	生産法人数	51	1	52	受託組織	53	1	54		H27 年度	夏植	143.2 時間	春植	111.8 時間	株出	84.5 時間	<p><b>【取組の方向】</b>                      ① 認定農業者と生産法人の育成を図る。                      ② 受託組織の育成を図る。                      ③ 単収向上による生産コストの低減を図る。</p> <p><b>【目標】</b>                      &lt;担い手等育成目標 (H32 年) &gt;</p> <p style="text-align: right;">単位：経営体、法人、組織</p> <table border="1" data-bbox="1144 842 1776 1182"> <thead> <tr> <th></th> <th>地区</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">認定農業者の育成</td> <td>宮古島</td> <td>73</td> <td>83</td> <td>93</td> <td>103</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>伊良部島</td> <td>23</td> <td>26</td> <td>30</td> <td>33</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>宮古計</td> <td>96</td> <td>109</td> <td>123</td> <td>136</td> <td>149</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">生産法人の育成</td> <td>宮古島</td> <td>52</td> <td>64</td> <td>76</td> <td>88</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>伊良部島</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>宮古計</td> <td>53</td> <td>65</td> <td>78</td> <td>90</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">受託組織の育成</td> <td>宮古島</td> <td>53</td> <td>65</td> <td>77</td> <td>90</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>伊良部島</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>宮古計</td> <td>54</td> <td>66</td> <td>79</td> <td>92</td> <td>106</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;10a 当たり労働時間の目標&gt;</p> <table border="1" data-bbox="1144 1246 1473 1383"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 32 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏植</td> <td>89.2 時間</td> </tr> <tr> <td>春植</td> <td>63.8 時間</td> </tr> <tr> <td>株出</td> <td>36.5 時間</td> </tr> </tbody> </table>		地区	H28	H29	H30	H31	H32	認定農業者の育成	宮古島	73	83	93	103	113	伊良部島	23	26	30	33	36	宮古計	96	109	123	136	149	生産法人の育成	宮古島	52	64	76	88	101	伊良部島	1	1	2	2	3	宮古計	53	65	78	90	104	受託組織の育成	宮古島	53	65	77	90	103	伊良部島	1	1	2	2	3	宮古計	54	66	79	92	106		平成 32 年度	夏植	89.2 時間	春植	63.8 時間	株出	36.5 時間	
	宮古島	伊良部島	計																																																																																																
認定農業者	73	23	96																																																																																																
生産法人数	51	1	52																																																																																																
受託組織	53	1	54																																																																																																
	H27 年度																																																																																																		
夏植	143.2 時間																																																																																																		
春植	111.8 時間																																																																																																		
株出	84.5 時間																																																																																																		
	地区	H28	H29	H30	H31	H32																																																																																													
認定農業者の育成	宮古島	73	83	93	103	113																																																																																													
	伊良部島	23	26	30	33	36																																																																																													
	宮古計	96	109	123	136	149																																																																																													
生産法人の育成	宮古島	52	64	76	88	101																																																																																													
	伊良部島	1	1	2	2	3																																																																																													
	宮古計	53	65	78	90	104																																																																																													
受託組織の育成	宮古島	53	65	77	90	103																																																																																													
	伊良部島	1	1	2	2	3																																																																																													
	宮古計	54	66	79	92	106																																																																																													
	平成 32 年度																																																																																																		
夏植	89.2 時間																																																																																																		
春植	63.8 時間																																																																																																		
株出	36.5 時間																																																																																																		

**【課題】**

- ・株出管理作業が他の作業と競合するなど機械化体系が現在まで図られてない状況のため受託組織の整備が必要である。
- ・兼業率も高く高齢化も進んでおり機械化の推進を図る必要がある。

**【計画】**

- ・生産法人の認定農業者への誘導及び再認定の推進、大規模経営体の認定農業者への誘導を行う。
- ・ハーベスタ運営協議会が作業委託者と受託者の調整・作業分配を行うことにより、作業の一元化を図る。
- ・株出し管理組合が収穫圃場情報を基に作業計画を作成し、適期管理を行う。

②農業共済制度への加入促進

**【前計画策定時の課題及びそれに対する取組結果】**  
(宮古島・伊良部島地区)

- ①相次ぐ台風被害等により掛金率が高くなったため、負担加重感がある。
- ②加入申込はしたが、掛金納入期限までに支払えず、やむなく契約解除する農家がある。

(伊良部島地区)

- ①農家が所有する耕地をトータルで被害評価する全相談方式は、一つの耕地で被害が出ても他の耕地でカバーされ被害と認定されない場合があり、補償されない不満が生じている。

**【現状】**

<畑作物共済の加入状況>

	宮古島地区	伊良部島地区
共済加入戸数	2,029 戸	497 戸
戸数加入率	45.1%	50.4%
引受面積	1,905 ha	423ha
面積加入率	57.3%	57.1%
支払金額	61,047 千円	10,033 千円

**【取組の方向】**

- ・共済組合職員による部落毎の有資格農家個々への訪問による加入推進の実施。
- ・さとうきび増産プロジェクト会議構成機関の連携による加入奨励の取組を強化する。

**【目標】**

<畑作物共済加入目標>

(宮古島地区)

項目	28年 (29年産)	29年 (30年産)	30年 (31年産)	31年 (32年産)	32年 (33年産)
戸数(戸)	2,217	2,264	2,319	2,366	2,412
面積(ha)	2,354.8	2,604.6	2,711.5	2,921.5	3,030.99
面積加入率%	62	65	67	69	71

有資格：26/27 年産さとうきび生産実績に基づく有資格戸面積  
戸数：5,129 戸 面積：4,804 ha

(伊良部島地区)

項目	28年 (29年産)	29年 (30年産)	30年 (31年産)	31年 (32年産)	32年 (33年産)
戸数(戸)	520	530	543	554	565
面積(ha)	529.5	519	539.4	560	594
面積加入率%	57%	60%	62%	64%	66%

有資格：26/27 年産さとうきび生産実績に基づく有資格戸面積

戸数：980戸 面積：863 ha

**【課題】**

- ① 共済制度への理解度が不十分。
- ② 高齢化による規模縮小、若年者の共済制度への無関心等で加入への意識が低い。
- ③ 加入申込はしたが、掛金納入期限までに支払えなく、やむなく契約解除する農家がある。

**【計画】**

- ① OCR（さとうきび要件審査）調査と連携し加入推進
- ② 損害防止への取組強化
- ③ 個別制度説明会の開催。
- ④ JA さとうきびシステムの活用による掛金徴収方法の徹底

(2) 生産基盤の強化

項目	現状及び課題	目標及び計画	備考
① 作型の選択	<p><b>【前計画策定時の課題及びそれに対する取組結果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全収穫面積の9割以上が夏植栽培であり、年により収穫面積が増減する状況</li> <li>・ 土壌害虫に効果的な薬剤の使用により株出萌芽性が回復したことから急激に株出割合が増加した。</li> </ul>	<p><b>【取組の方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 生産量確保の観点から、夏植は生産面積の半分程度は確保した上で、株出、春植も維持する（宮古島）。</li> <li>② 防風、防潮林の整備については、既存の事業に加え、地元での植林作業（グリーンネット）を実施し、植林後の管理等を含め、防風・防潮林整備を進めていく。</li> <li>③ 春植・株出体系を推進する（伊良部島）。</li> </ul>	



**【現状】**

<収穫面積に占める各作型の割合の現状>

宮古島	面積割合 (%)		
	夏植	春植	株出
平成 20 年度	89.6	7.5	2.9
平成 21 年度	85.0	9.5	5.5
平成 22 年度	80.7	10.5	8.8
平成 23 年度	77.5	9.5	12.9
平成 24 年度	68.1	9.1	22.9
平成 25 年度	54.0	6.7	39.3
平成 26 年度	49.3	7.8	42.9

伊良部島	面積割合 (%)		
	夏植	春植	株出
平成 20 年度	97.3	1.6	1.1
平成 21 年度	97.2	1.7	1.1
平成 22 年度	94.6	3.2	2.2
平成 23 年度	93.6	4.0	2.4
平成 24 年度	87.2	6.0	6.8
平成 25 年度	82.9	5.1	12.0
平成 26 年度	81.2	4.1	14.7

**【課題】**

- ・ 株出管理機械等のオペレータ確保及び養成。

**【目標】**

<収穫面積に占める各作型の割合目標>

宮古島	面積割合 (%)		
	夏植	春植	株出
平成 28 年度	47.7	7.5	44.8
平成 29 年度	45.9	7.2	46.9
平成 30 年度	46.4	7.2	46.4
平成 31 年度	45.2	6.9	47.9
平成 32 年度	45.6	6.8	47.6

伊良部島	面積割合 (%)		
	夏植	春植	株出
平成 28 年度	81.0	4.1	14.9
平成 29 年度	79.8	4.6	15.6
平成 30 年度	78.2	5.7	16.1
平成 31 年度	76.6	6.9	16.6
平成 32 年度	75.6	7.8	16.7

**【計画】**

- ・ ハーベスタ運営協議会と株出管理作業組合が情報を共有し、収穫から株出管理作業の機械稼働計画策定・スケジュール管理を行なう。

②気象災害に強い生産基盤の整備

**【前計画策定時の課題及びそれに対する取組結果】**

- ・ 水源整備（地下ダム）の整備率は高いが、土地基盤整備や畑地かんがい整備不十分である。また、防風・防潮林の整備も遅れている（宮古島）。
- ・ 水の確保が課題であり畑地のかんがい施設が必要（伊良部島）。

**【取組の方向】**

- ・ 干ばつ被害に対処するため畑地かんがい整備等により水の確保を図る。

**【現状】**

<農業基盤整備の状況>

- ①土地基盤整備： 55.9%
- ②畑地灌漑整備： 66.8%
- ③水源整備率： 83.9%

※H26年度実績見込み値

**【課題】**

- ・水源整備（地下ダム）の整備率は高いが、土地基盤整備や畑地かんがい整備不十分である。また、防風・防潮林の整備も遅れている（宮古島）。
- ・水の確保が課題であり畑地のかんがい施設が必要（伊良部島）。

**【目標】**

<農業基盤整備の目標（H33年度）>

- ①土地基盤整備： 75.4%
- ②畑地灌漑整備： 77.5%
- ③水源整備率： 93.4%
- ④防風施設整備： 15,616m

**【計画】**

- ・畑地かんがい整備事業を計画的に実施し、整備率を高める。
- ・防風・防潮林の整備については、既存の事業に加え、地元での植林作業（グリーンネット）を実施し、植林後の管理等を含め、防風・防潮林整備を進めていく。

③機械化一貫体系の確立

**【前計画策定時の課題及びそれに対する取組結果】**

- ・ハーベスタの導入に併せて株出管理機の導入を推進しハーベスタと株出管理機の効率的な作業を図る必要がある。

**【現状】**

<農業機械等の稼働状況 26/27 年期末実績>

	宮古島		伊良部島	
	台数	面積率	台数	面積率
ハーベスタ	90	64.9%	8	28.5%
株出管理機	53	14.0%	12	14.7%
プランタ	10	5.0%	3	4.0%

- ①オペレータ講習会は機械士会で随時開催している。

**【取組の方向】**

- ①ハーベスタと株出管理機等の導入の推進を図る。
- ②農業機械の効率的な利用を進めるために、JA、工場関係機関との連携を強化する。

**【目標】**

<農業機械の稼働目標（H32年）>

	宮古島		伊良部島	
	台数	面積率	台数	面積率
ハーベスタ	140	80.0%	15	57%
株出管理機	63	24.0%	22	29.4%
プランタ	12	15.0%	8	8.0%

	<p><b>【課題】</b></p> <p>①ハーベスタの導入に併せて株出管理機の導入を推進しハーベスタと株出管理機の効率的な作業を図る必要がある。</p> <p>②今後、植付（プランタ）作業体系の確立について、検討する必要がある。</p>	<p><b>【計画】</b></p> <p>①株出管理組合の担い手育成に努める。</p> <p>②機械組合等の作業委託についての計画及び運営方法の検討とハーベスタ収穫原料搬入増加に伴い、デトラッシャ（夾作物除去施設）の導入について各工場と連携していく。</p>																									
<p>④地力の増進</p>	<p><b>【前計画策定時の課題及びそれに対する取組結果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑肥種子購入補助の実施</li> <li>・ 有機質肥料購入補助の実施</li> </ul> <p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有機質肥料及び緑肥作物の栽培による土づくりの推進を実施。</li> <li>・ 大部分が耕土の浅い島尻マーヅ土壤</li> <li>・ ほ場に散布する堆肥の量が少ない</li> <li>・ 緑肥栽培の土作りが少ない</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土づくりに対する農家の取組が高まってきた。さらに土づくりの意識向上を目指す。</li> <li>・ 堆肥等を活用した土作り対策の取組み</li> </ul>	<p><b>【取組の方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土づくりを含めた栽培講習会を今後も実施していく。</li> </ul> <p><b>【目標】</b></p> <p>&lt;土づくりに対する市の助成目標&gt;</p> <p style="text-align: right;">単位：千円</p> <table border="1" data-bbox="1122 659 1832 794"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緑肥栽培</td> <td>150</td> <td>150</td> <td>150</td> <td>150</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>有機質肥料</td> <td>2,200</td> <td>2,200</td> <td>2,200</td> <td>2,200</td> <td>2,200</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,350</td> <td>2,650</td> <td>2,350</td> <td>2,350</td> <td>2,350</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑肥栽培の取組みの実施</li> <li>・ 栽培講習会等の開催</li> </ul> <p><b>【計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑肥種子購入補助、有機質肥料購入補助を継続して実施する。</li> <li>・ 緑肥栽培の推進のため緑肥種子の補助等の実施</li> <li>・ 機械を利用した作業体系の確立</li> </ul>	年度	H28	H29	H30	H31	H32	緑肥栽培	150	150	150	150	150	有機質肥料	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	計	2,350	2,650	2,350	2,350	2,350	
年度	H28	H29	H30	H31	H32																						
緑肥栽培	150	150	150	150	150																						
有機質肥料	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200																						
計	2,350	2,650	2,350	2,350	2,350																						

(3) 技術対策

項目	現状及び課題	目標及び計画	備考								
<p>①栽培技術の普及等</p>	<p>【前計画策定時の課題及びそれに対する取組結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>株出管理機等を利用した補助の実施。</li> </ul> <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>株出管理機を利用するが、その後の肥培管理が未実施により成育不良が見られる。</li> </ul> <p>&lt;適期肥培管理の実施状況&gt;</p> <table border="1" data-bbox="486 552 1010 687"> <thead> <tr> <th>栽培型</th> <th>植付時期/株出管理時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏植</td> <td>8月～10月</td> </tr> <tr> <td>春植</td> <td>2月～3月</td> </tr> <tr> <td>株出</td> <td>1月～2月</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>株出栽培の急激な増加に対して、十分な株出管理作業が実施されておらず、低単収の要因の一つとなっている。</li> <li>収穫作業と春植、株出作業が競合し、早期植付、適期管理が困難となっている。</li> </ul>	栽培型	植付時期/株出管理時期	夏植	8月～10月	春植	2月～3月	株出	1月～2月	<p>【取組の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>株出管理機を利用した補助を継続して実施。</li> </ul> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夏植中心から春植・株出体型への推進</li> <li>適期植付時期の指導強化を図る</li> <li>地域に適した品種の構成</li> </ul> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>株出管理作業の委託を行う農家への助成の実施。</li> <li>製糖企業、JA 対策室等と連携した早期植付、適期管理作業の励行、周知を図るため、巡回指導を実施する。</li> <li>早期植付、適期管理の効果に対する展示ほの設置やオペレータ実践研修等を実施する。</li> </ul>	
栽培型	植付時期/株出管理時期										
夏植	8月～10月										
春植	2月～3月										
株出	1月～2月										
<p>②優良品種の選択・普及</p>	<p>【前計画策定時の課題及びそれに対する取組結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>優良種苗安定確保事業を実施して普及を図っている。</li> </ul>	<p>【取組の方向】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①台風、干ばつ等に抵抗性のある品種の導入による品種構成の敵正化を図る。</li> <li>②健全無病苗の活用による生産性向上を推進する。</li> <li>③側枝苗を活用した安定生産技術の開発普及を行う。</li> <li>④新品種の実証展示ほの活用による地域適正品種の選定。</li> </ol>									

**【現状】**

<品種構成の状況>

(宮古島地区)

単位：%

	NiF8	Ni15	宮古1号	Ni21	NiH25	Ni27
H18	8.4	31.8	36.3			
H22	4.3	18.1	27.6	6.3	8.9	
H26	0.6	1.4	1.5	13.8	6.5	70.0

(伊良部島地区)

単位：%

	F172	Ni9	NiF8	Ni15	宮古1号	Ni27
H18	14.5	1.5	31.7	41.6		
H22	2.8	0.5	5.3	61.8	0.9	
H26			0.1	6.1	1.2	72.2

**【課題】**

- ・ Ni27が栽培面積の70%程度を占めているので品種構成の適正化を図る(宮古島)。
- ・ 1品種に偏った傾向があるので、品種構成の適正化を図る(伊良部島)。

**【目標】**

①品種構成について

- ・ 新品種の導入により5年間でRK97-14を全体の50%程度に増やす。
- ・ 当面はNi27、Ni21、NiH25等の普及拡大を図る。

②原苗ほ等の設置を引き続き行う。

- ③実証ほ等の設置を行い適応性品種の普及拡大を図る。
- ・ 品種構成の適正化を図り普及・導入を図る。

**【計画】**

- ・ 種苗を委託する農家の選定を厳正して肥培管理が優良な農家を選ぶ。
- ・ 早熟品種40%、中熟品種20%、晩熟品種40%の品種構成とする。

③病害虫対策

**【前計画策定時の課題及びそれに対する取組結果】**

- ・ アオドウガネとケブカアカチャコガネの幼虫による立枯れ被害や株出不萌芽、両種成幼虫に対する防除(誘殺灯、早期ロータリー耕耘作業)
- ・ ハリガネムシ幼虫による欠株や株出不萌芽成幼虫の防除方法の確立。

**【現状】**

- ・ メイチュウ類は、ベイト剤の普及により被害は減少しているものの、依然として立ち枯れ被害が見られる。
- ・ 黒穂病の発生が見られる。
- ・ その他の害虫については、農家の適期防除により減少している。

**【取組の方向】**

- ・ アオドウガネ：  
誘殺灯を適正に管理するためのシステム作り。
- ・ ケブカアカチャコガネ：  
早期ロータリー耕耘を行うための機械やオペレータを確保する。
- ・ 今後も適期防除を推進する。

**【目標】**

- ・ 優良種苗の確保を推進する。(健全苗の活用)

<イネヨトウ交信かく乱事業実施状況>

年度	実施地区	実施面積	備考
H25年度	伊良部島	797ha	防除普及事業
H26年度	宮古島	295ha	防除普及事業
	宮古島	7,548ha	増産基金
	伊良部島	836ha	増産基金

【課題】

- ・メイチュウ類  
植付時の粒剤施用の徹底、適期肥培管理による  
耕種的防除の推進
- ・黒穂病  
罹病ほ場からの採苗、調苗時の薬剤処理等の不  
徹底。

【計画】

- ・関係機関と連携し防除方法についてのチラシ作成や栽  
培講習会等の開催

2. さとうきび増産に向けた取組の推進体制について

<p>①さとうきび増産に向けた取組推進体制</p>	<p>&lt;宮古島市増産プロジェクト会議の構成&gt;</p> <p style="text-align: center;">             会長 _____ 副会長 _____ 事務局 _____              宮古島市農政課長                      JA 宮古地区本部長                      宮古島市農政課         </p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 60%;"></div> <div style="width: 35%; border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>宮古島市農政課</li> <li>宮古島市農業委員会</li> <li>JA 宮古島地区本部</li> <li>沖縄県農業共済組合宮古島支所</li> <li>さとうきび生産組合</li> <li>沖縄県宮古農林水産振興センター 農業改良普及課</li> <li>沖縄県農業研究センター宮古島支所</li> </ul> </div> </div>				
<p>②関係者の役割分担</p>	<p>参画機関</p>	<p>担うべき役割</p>	<p>具体的取組方策</p>		
			<p>経営基盤の強化</p>	<p>生産基盤の強化</p>	<p>技術対策</p>
	<p>宮古島市</p>	<p>① プロジェクト会議の事務全般 ② 国・県事業導入及び予算等の事項 ③ 国、県との調整等 ④ さとうきび増産体制に係る事項 ⑤ その他増産に関する事項全般</p>	<p>① 受託組織の育成 ② 共済加入の促進</p>	<p>① 事業導入計画 ② 水源の確保 ③ 農業機械の導入 ④ 集中脱糞施設の検討 ⑤ 防風防潮林の整備</p>	<p>① 展示ほの設置 ② 優良種苗の増殖普及 ③ 堆肥の供給 ④ 病害虫防除対策 ⑤ 緑肥栽培の励行</p>
	<p>農業委員会 製糖工場</p>	<p>① 農地の流動化等に関する事項 ② 農家への啓発 ③ 実証展示ほ等への協力 ④ 品種導入等の技術に関する事項 ⑤ バガス等の供給等 ⑥ その他資材等の供給</p>	<p>① 農地の流動化促進 ② 耕作放棄地の点検等 ③ 受託組織等への協力</p>	<p>① 車両、機械等の提供</p>	<p>① 実証展示ほの設置 ② バガスの供給等 ③ 新品種の普及拡大 ④ 農家懇談会の開催</p>

	JA おきなわ 宮古事業本部	① 生産性向上の推進に関する事項 ② 事業導入に関する事項 ③ 農家への普及啓発活動等 ④ 農家への技術指導に関する事項 ⑤ 生産組織、受託組織に関する事項 ⑥ 生産資材に関する事項	① 生産組織の育成 ② 受託組織の育成 ③ 共済加入促進説明会	① 機械等の事業導入 ② 生産資材等の提供	① 実証展示ほの設置等への協力 ② 技術検討会呼びかけ
	沖縄県農業共済組合 (宮古支所)	① 共済加入率の促進に係る事項	① 加入促進説明会の開催		
	農業改良普及課	① 生産技術に関する事項 ② 事業導入に関する事項 ③ 生産性に関する事項全般 ④ 県行政との調整に関する事項 ⑤ その他生産組織に関する事項等	① 受託組織の指導 ② 農家経営等の調査	① 事業導入への協力 ② 事業効果の検証指導	① 展示ほの設置、指導 ② 品種構成の指導 ③ 技術講習・実演会 ④ 土壌分析調査 ⑤ 栽培指針の策定
	農研センター 宮古支所	① 生産技術に関する事項			① 展示ほの設置 ② 技術講習・実演会 ③ 栽培指針の策定
	さとうきび生産農家	① 技術講習会等の開催に関する事項 ② 生産技術向上等に関する事項 ③ 実証展示ほに関する事項	① 生産組織への加入 ② 共済加入の促進	① 増産体制への協力	① 適期管理の啓発 ② 展示ほ等の設置、協力
③毎年度の検証方法・体制	・各工場の生産実績を基に各関係機関と検証を行う。				



(参考情報)

1. 県(島)の概況、農業・さとうきび作の位置づけ等

宮古島諸島は、北東から南西へ弓状に連なる琉球弧のほぼ中央にあつて、大小8つの島からなり、1市1村で構成されている。平年値で年間平均気温23.6℃、平均湿度77%、年間降水量2021.0mmで、四方を海に囲まれ高温多湿な亜熱帯海洋性気候である。

宮古地域の産業就業者割合は、第1次産業が22.0%、第2次産業が14.0%、第3次産業が59.3%であり、沖縄本島、八重山と比べると第1次産業者(うち農業95.9%、水産業3.7%、林業0.5%)の割合が高い。宮古の農業生産は台風・干ばつ等の気象条件に左右されるものの、近年の農業産出額は135億円から160億円の範囲で推移している。

2. さとうきび生産の現状

生産の現状

【近年の作物別作付面積の動向、さとうきびの収穫面積、単収、生産量、糖度の推移】

(1) 作物別作付面積の動向

(単位: ha)

	耕地面積	作付面積	さとうきび	かんしょ	水稻	野菜	果樹	飼料作物	その他
H17	11,000	—	4,100	35	—	318	57	1,143	—
H18	10,900	—	4,025	37	—	352	62	1,048	—
H19	10,900	—	4,061	35	—	345	63	830	—
H20	10,900	—	3,942	37	—	338	71	1,043	—
H21	10,800	—	3,974	20	—	330	83	1,112	—
H22	10,700	—	4,150	16	—	420	86	1,232	—
H23	10,800	—	4,158	12	—	437	83	1,068	—
H24	10,800	—	4,705	18	—	222	85	1,114	—
H25	10,800	—	4,859	17	—	233	81	1,067	—
H26	10,800	—	—	—	—	—	—	—	—

※H19年以後、品目によっては市町村統計が公表されていないため数値が把握されていない。

## (2) さとうきびの収穫面積、単収、生産量、糖度の推移

## 【宮古島】

	収 穫 面 積 (ha)				単 収 (t / ha)				生 産 量 (t)				糖 度
	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	
H17	2,702	191	83	2,977	6,840	3,694	4,115	6,562	184,830	7,069	3,413	1995,311	15.16
H18	2,705	209	110	3,024	7,133	4,671	5,406	6,900	192,944	9,753	5,963	208,660	15.15
H19	2,654	254	96	3,004	8,101	5,084	96	7,762	214,971	12,922	5,252	233,144	14.80
H20	2,604	219	83	2,906	8,206	4,993	6,394	7,912	213,693	10,935	5,307	229,935	16.37
H21	2,497	280	160	2,938	9,302	5,843	6,225	8,804	232,286	16,361	9,985	258,632	15.25
H22	2,483	322	271	3,076	8,549	5,494	6,281	8,030	212,275	17,679	17,035	246,988	14.35
H23	2,417	297	403	3,117	5,204	3,585	3,741	4,860	125,750	10,661	15,078	151,490	13.91
H24	2,442	325	821	3,587	7,816	5,431	5,309	7,026	190,834	17,667	43,559	252,061	14.59
H25	2,003	248	1,458	3,709	7,832	5,512	5,076	6,594	156,887	13,661	74,003	244,551	13.88
H26	1,801	988	1,564	4,353	7,675	5,411	5,444	6,177	138,489	15,569	36,887	190,945	

## 【伊良部島】

	収 穫 面 積 (ha)				単 収 (t / ha)				生 産 量 (t)				糖 度
	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	
H17	1,107	8	8	1,123	6,840	3,694	4,115	6,562	74,309	299	340	74,948	14.37
H18	981	15	5	1,001	7,214	4,467	3,500	7,154	70,770	670	175	71,615	14.54
H19	1,032	15	10	1,057	9,343	4,517	6,268	9,245	96,415	678	627	97,719	14.55
H20	1,006	12	18	1,036	7,692	5,917	4,361	7,613	77,379	710	785	78,874	16.02
H21	1,008	13	20	1,041	8,851	4,317	4,182	8,704	89,216	561	836	90,613	15.74
H22	986	31	57	1,074	7,457	3,768	4,420	7,189	73,523	1,168	2,519	77,211	14.13
H23	953	40	48	1,041	4,996	3,059	4,213	4,885	47,608	1,224	2,022	50,854	14.91
H24	975	49	94	1,118	6,835	4,445	4,990	6,575	66,637	2,178	4,691	73,506	15.25
H25	936	43	171	1,150	7,762	4,945	4,144	7,119	72,656	2,126	7,087	81,869	14.52
H26	701	35	127	863	7,665	4,760	5,027	7,159	53,734	1,666	6,384	61,784	

【年齢階層別農家戸数】

【宮古島】

(単位：人)

	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
H19	28	124	608	1,045	1,742	3,547
H20	30	108	533	1,057	1,742	3,470
H21	33	108	486	1,112	1,890	3,629
H22	21	108	448	1,133	2,061	3,771
H23	25	108	416	1,165	1,150	3,864
H24	35	140	410	1,233	2,436	4,254
H25	31	129	351	1,152	2,524	4,187
H26	28	125	305	1,077	2,544	4,079

【伊良部島】

	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
H19	2	13	79	208	673	975
H20	2	9	67	205	666	949
H21	1	14	60	198	702	975
H22	0	15	52	206	696	969
H23	2	22	49	198	738	1,009
H24	3	22	48	219	779	1,071
H25	3	19	42	200	753	1,017
H26		23	41	189	752	1,005

【経営（収穫）規模別農家戸数】

【宮古島】

（単位：戸）

	100a 未満	100～300a 未満	300a～500a 未満	500a 以上	合計
H17	2,473	977	21	9	3,474
H18	1,487	2,147	83	9	3,726
H19	2,805	1,018	30	3	3,856
H20	2,977	1,007	16	3	4,003
H21	2,805	1,018	30	3	3,856
H22	2,868	1,069	27	5	3,969
H23	2,868	1,069	27	5	3,969
H24	3,017	1,111	40	6	4,174
H25	2,941	1,157	44	7	4,174
H26	2,941	1,157	44	7	4,149

【伊良部島】

	100a 未満	100～300a 未満	300a～500a 未満	500a 以上	合計
H17	865	355	29	1	1,250
H18	832	341	22	1	1,196
H19	846	374	20	1	1,241
H20	854	324	19	2	1,199
H21	857	354	17	2	1,230
H22	852	373	22	3	1,250
H23	914	307	14	1	1,236
H24	883	364	13	3	1,263
H25	816	395	21	3	1,235
H26	697	269	13	1	980

【製糖工場の操業状況】

【宮古島】

	操業率 (%)	操業期間 (日)	歩留 (%)	トラッシュ率 (%)
--	---------	----------	--------	------------